

令和8年3月11日

報道機関 各位

第2回北大町（加納町・池田町）まちづくり座談会 「北大町のこれからを共有しよう」を開催します

氷見市と富山大学藪谷研究室は、能登半島地震により被害を受けた北大町（加納町・池田町）でのまちづくり座談会を開催いたします。第1回座談会では、住民や北大町に関わりのある方々とともに北大町が抱える課題やそれぞれの思いを共有しました。第2回座談会ではまちの未来像を想像し、その実現に向けてどのような活動が可能かを検討・共有するグループワークを実施いたします。また当日は前半に、富山大学大学院人文社会芸術総合研究科における授業の成果発表として、空き地の暫定利用に関する提案を発表いたします。

つきましては、本件について取材・報道方よろしくお取り計らい願います。

記

- 日時・場所 池田町：2026年3月14日（土） 9:30～11:30
池田町公民館（氷見市北大町15-14）
加納町：2026年3月14日（土）13:30～15:30
加納町公民館（氷見市北大町6-25）
- 申込 事前申込不要、参加費無料
- 共催 氷見市、富山大学藪谷研究室

※詳細は添付のチラシをご確認ください

【本発表資料のお問い合わせ先】

富山大学 学術研究部 芸術文化学系 講師 藪谷祐介
TEL：0766-25-9200 Email：yabutani@tad.u-toyama.ac.jp

第2回からの
ご参加も大歓迎

第2回北大町（加納町・池田町）まちづくり座談会

「北大町のこれからを考えよう」

震災による被害で、空き地の増加や地域のつながりの希薄化が進む北大町。
まちでの暮らしをより良くするためにも、未来への思いを共有しませんか？

池田町

2026 **3.14**（土）9:30～11:30

会場 池田町公民館（氷見市北大町 15-14）

加納町

2026 **3.14**（土）13:30～15:30

会場 加納町公民館（氷見市北大町 6-25）



第2回まちづくり座談会の内容

第1部

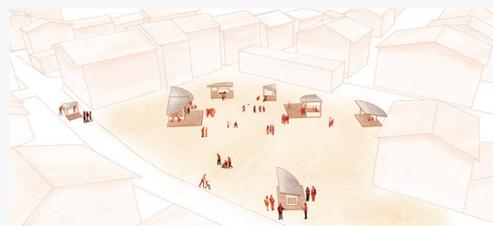
授業成果発表会

「北大町（加納町・池田町）の公費解体跡地の活用方法の提案」

富山大学の大学院生が考えた北大町（加納町・池田町）の公費解体跡地の2つの活用案を発表します。



提案1: まちを繋ぐ仮設商店街



提案2: 地域住民を結ぶ、組み替えられる交流の場

第2部

グループワーク

「まちの未来の思いを共有しよう」

北大町が将来どんなまちになってほしいか、どんなまちなら住みたいかを共有します。

第1回北大町（加納町・池田町）まちづくり座談会が開催されました

座談会では、まちの現状（北大町が抱える課題など）と魅力（好きなところなど）について話し合いました。予想を超える多くの方にご参加いただき、活発な意見交換が行われました。まちへの強い思いや愛着が語られ、「小さなことからやっつけていこう」という前向きな意見が印象的でした。話し合われた意見の一部をご紹介します。

池田町

日時：2026年2月8日（日）

参加人数：22名



まちの現状

1. 空き地の維持管理の負担
例：空き地となった場所の草刈りが大変
2. 地域コミュニティの運営難
例：世話役の人がいない
3. 集まる場所の不足
例：会える場所が欲しい

まちの魅力

1. 安心できるまち
例：ご近所付き合いが残っている
2. 老人会が活発
例：週に3～4回は集まっている
3. 獅子舞
例：獅子舞が活発である

加納町

日時：2026年2月14日（日）

参加人数：16名



まちの現状

1. 空き地の増加
例：空き地の所有者がわからず活用が困難
2. 道路・側溝の被害
例：歩道と土地の間の側溝が危ない
3. 町内活動の維持が困難
例：人が減り、個人の負担が増えた

まちの魅力

1. 景色の良さ
例：海越しの雪が被った立山がとても綺麗
2. 散歩に良い環境
例：散歩コースがある
3. 人の良さ
例：気軽に声をかけあえる

今後の活動について

今年度の座談会で話し合った内容をもとに、来年度はできることから活動に繋げていきます。

まちづくり
座談会

2025年度

活動

2026年度

ご回答をお願いします

北大町（加納町・池田町）にお住まいの皆さまへ

1月に「北大町の震災復興に向けたアンケート」を全戸配布いたしました。未回答の方は、右のQRコードから、ぜひご回答お願いいたします。



▲こちらから